

- 問1 ノルウェーなどの高緯度地域で見られる、かつて陸地を覆っていた氷河の侵食作用によって削られた谷に、海水が入り込んでできた複雑で細長い湾や入り江のことを何と呼びますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. フィヨルド 2. リアス海岸 3. ラグーン 4. カルスト地形
- 問2 農産物の輸出量に関する統計において、アメリカ合衆国が20.4%、カナダが12.2%、ロシアが11.1%、フランスが8.5%という高い輸出シェアを占めている農作物はどれか、次の中から選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. とうもろこし 2. 小麦 3. 米 4. オレンジ類
- 問3 ヨーロッパの北部や東部の統計において、穀物栽培と家畜の飼育が組み合わされている「混合農業」の仕組みや特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 大都市への出荷を目的として、冷涼な気候を活かし乳牛の飼育と乳製品の加工に特化する。 2. 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。 3. 夏の乾燥に強いオリーブやブドウなどの果樹栽培と、冬の降水を利用した小麦栽培を組み合わせる。 4. 季節による気温の変化に合わせ、家畜を夏は高地の牧草地へ、冬はふもとの平地へと移動させる。
- 問4 ヨーロッパ北西部の北海を含む海域は、世界でも有数の豊かな漁場となっています。この海域において、魚が集まりやすい好漁場が形成される自然環境の理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. 水深が数千メートルに達する深い海溝があり、深海からの湧昇流が絶えず発生しているため。 2. 赤道に近い熱帯の海域であり、サンゴ礁によって多様な生態系が維持されているため。 3. 一年中流氷に覆われているため、人間による乱獲が防がれ、魚が保護されているため。 4. 大陸棚と呼ばれる水深の浅い海底が広がり、暖流と寒流がぶつかる「潮目」があるため。
- 問5 ヨーロッパ州が、他地域と比較して「一人あたりの二酸化炭素排出量が多い」一方で「人口増加率が低い」という統計的特徴を示す理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 伝統的な牧畜業が盛んで家畜による温室効果ガスの排出が多い一方で、砂漠化の進行により居住可能な地域が減っているため。 2. 広大な熱帯雨林の開発により二酸化炭素が大量に放出されている一方で、食糧不足から乳幼児の死亡率が極めて高いため。 3. 産業革命以来の工業化によって経済が発展しエネルギー消費量が多い一方で、近代化に伴う少子高齢化が進行しているため。 4. IT産業の成長により電力消費が急増している一方で、厳格な一人っ子政策が導入され人口抑制が行われているため。
- 問6 大西洋の統計や地図において、北米東岸からヨーロッパ北西部に向かって流れる暖流と、その上空をユーラシア大陸方向へ吹く風の動きが示されている場合があります。これらの自然環境が、ヨーロッパ州の人々の生活や産業に与えている影響の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 寒流と暖流がぶつかる潮目となるため、偏西風を利用した遠洋漁業が一年中行われ、世界最大の漁獲量を誇る。 2. 季節風の影響で冬に大量の雪が降るため、その雪解け水を利用した稲作がヨーロッパ全域で盛んに行われている。 3. 偏西風が北大西洋海流の冷たい空気を運んでくるため、夏季でも気温が上がらず、農業には適さない環境となっている。 4. 暖流によって暖められた空気が偏西風で運ばれるため、高緯度でも北西部の港が冬に凍らず、航路が確保される。
- 問7 ヨーロッパの先進工業国に見られる経済的な特徴について、他の地域と比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 急速な経済発展を遂げているものの、農業から工業への転換期にあるため、国民総所得は中規模な水準にとどまっている。 2. 面積は比較的小さいが、高度な工業製品の輸出やEU域内での活発な取引により、国民総所得や1人あたりの貿易額が非常に高い。 3. 広大な面積と豊富な天然資源を背景に経済成長しているが、人口も多いため1人あたりの国民総所得は相対的に低くなる。 4. 面積が小さく、特定の農作物や資源の輸出に依存しているため、国民総所得も1人あたりの貿易額も極めて低い水準にある。
- 問8 イタリアの農業統計において、小麦の生産量が米の生産量を大きく上回っている状況があります。この農業的な特徴が、イタリアの食文化にどのような影響を与えていると考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 生産量の多い小麦を主原料とした、パスタやピザを食べる文化が定着している。 2. オリーブの栽培に特化しているため、穀物を全く摂取しない食生活が一般的である。 3. 米の生産が困難なため、とうもろこしを主食としてそのまま食べる文化が中心である。 4. 寒冷な気候で育つライ麦の生産が多いため、黒パンを主食とする文化が普及している。
- 問9 フランスがEU最大の農業国として、他のヨーロッパ諸国を上回る規模で小麦の生産を行える地理的な背景や特徴について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
1. 国土の大部分が干拓地であり、高度な灌漑設備を用いた施設園芸が主流であるため。 2. アルプス山脈の急峻な地形を利用し、段々畑での集約的な生産が行われているため。 3. 広大な平原を利用して、大型機械を導入した大規模な畑作が行われているため。 4. 全土が地中海性気候に属しており、夏の乾燥を利用した小麦栽培に特化しているため。
- 問10 北欧のノルウェー周辺の海域は、浅くて平らな海底地形である大陸棚が広がっており、原油や天然ガスなどの資源が豊富に採掘されています。採掘されたこれらのエネルギー資源を、陸上の消費地まで安定して輸送するために用いられている施設を何といいますか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. パイプライン 2. 運河 3. 送電網 4. 高速鉄道
- 問11 1993年を境にヨーロッパ諸国の食生活が変化した背景を説明した記述として、欧州連合（EU）の発足による影響をふまえた最も適切なものを選びなさい。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 域内での物資の移動にかかる関税や国境検査が原則として廃止されたことで、他国の新鮮な農産物や特産品が安く流通し、食生活が多様化した。 2. すべての加盟国で共通のメニューを食べることが義務付けられたため、各国固有の食文化が消滅し、食生活の均一化が急激に進んだ。 3. 共通通貨ユーロの導入によって物価が非常に高騰したため、人々は安価な冷凍食品のみを食べるようになり、外食文化が衰退した。 4. 域外からの輸入を完全に禁止する法律が制定されたため、すべての加盟国で自給自足が達成され、伝統的な食文化が保護されるようになった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 フィヨルド	氷河によって削られた谷に海水が侵入して形成された複雑な湾や入り江はフィヨルドと呼ばれます。起伏のある山地が海水面の下に沈んでできたリアス海岸とは形成される原因が異なります。
問2	答え 2 小麦	統計に示された国々は、いずれも冷涼な気候や乾燥した地域での栽培に適した作物の主要な生産国です。特にアメリカ合衆国のグレートプレーンズやカナダのプレーリー、ロシア南部からウクライナにかけて広がる黒土地帯は、広大な平原を利用した大規模な栽培が行われており、世界有数の輸出拠点となっています。フランスも欧州連合（EU）最大の農業国として、パリ盆地を中心にこの作物の生産が盛んです。
問3	答え 2 家畜の糞尿を肥料として耕地に還元し、穀物栽培と家畜の飼育を循環させて行う。	混合農業は、家畜を飼育することで得られる堆肥を穀物生産の肥料として利用し、生産された穀物の一部を家畜の飼料にするという循環型の仕組みを持っています。これは、もともと土壌があまり肥沃ではなかったヨーロッパ北部などの地域で、土地の力を維持しながら多角的な経営を行うために発展しました。
問4	答え 4 大陸棚と呼ばれる水深の浅い海底が広がり、暖流と寒流がぶつかる「潮目」があるため。	北海には「ドッガーバンク」と呼ばれる広大な大陸棚が広がっており、太陽光が届きやすいため魚の餌となるプランクトンが豊富です。さらに、暖かい北大西洋海流と冷たい海流がぶつかり合う潮目（潮境）があることで、多くの魚種が集まる環境が整っています。
問5	答え 3 産業革命以来の工業化によって経済が発展しエネルギー消費量が多い一方で、近代化に伴う少子高齢化が進行しているため。	ヨーロッパ州は世界で最も早く工業化を達成した地域であり、現在も高い経済水準を背景に一人あたりのエネルギー消費量、すなわち二酸化炭素排出量が多い状況にあります。一方、社会構造の変化や価値観の多様化により出生率が低下しており、人口増加率はアフリカ州やアジア州などの成長地域に比べて著しく低くなっています。
問6	答え 4 暖流によって暖められた空気が偏西風で運ばれるため、高緯度でも北西部の港が冬に凍らず、航路が確保される。	北大西洋海流という暖流と、その熱を陸地へ運ぶ偏西風の働きにより、ヨーロッパ北西部は緯度のわりには冬の気温が下がりにくいという恩恵を受けています。これにより、北緯50度を超えるような高緯度にあるイギリスやノルウェーの港でも、冬に海面が凍結しない「不凍港」として機能し、海上交通や貿易が維持されています。季節風の影響による稲作や、寒流の影響による冷涼な気候という説明は、ヨーロッパ州のこの地域の特性ととは一致しません。
問7	答え 2 面積は比較的小さいが、高度な工業製品の輸出やEU域内での活発な取引により、国民総所得や1人あたりの貿易額が非常に高い。	イタリアなどのヨーロッパ諸国は、限られた国土面積の中で付加価値の高い工業製品（ブランド品、自動車、精密機械など）を生産し、輸出しています。特にEU（欧州連合）という共通市場の中で関税なしに活発な貿易が行われるため、1人あたりの貿易額が非常に大きくなる傾向があります。他の選択肢は、広大な国土を持つ新興国（ブラジルやインド）や、発展途上にあるモノカルチャー経済の国（ガーナなど）の説明に該当します。
問8	答え 1 生産量の多い小麦を主原料とした、パスタやピザを食べる文化が定着している。	イタリアでは北部の平野部などで小麦の栽培が盛んであり、統計上も米など他の穀物に比べて生産量が多いことが示されています。このため、収穫された小麦を粉にして加工するパスタやピザが、国の代表的な食文化として発展しました。
問9	答え 3 広大な平原を利用して、大型機械を導入した大規模な畑作が行われているため。	フランスの小麦生産の強みは、その地形的条件にあります。国土に広がる広大な平原を活かし、大型の農業機械を導入して効率的に大規模な畑作を展開しているため、高い生産性を維持できています。これに対し、地中海沿岸ではオリーブやブドウ、オランダでは干拓地での園芸農業が特徴的であり、小麦の大規模生産とは異なります。
問10	答え 1 パイプライン	大陸棚の油田やガス田から採掘された資源を、海底や地下を通して効率的に輸送するためにパイプラインが敷設されています。これにより、ノルウェーなどの産出国はヨーロッパ各国へエネルギーを供給し、高い経済水準を保つ要因となっています。
問11	答え 1 域内での物資の移動にかかる関税や国境検査が原則として廃止されたことで、他国の新鮮な農産物や特産品が安く流通し、食生活が多様化した。	欧州連合（EU）の発足による「市場の統合」は、私たちの生活に密接に関わる食文化にも大きな影響を与えました。国境検査や関税がなくなったことで、隣国の農産物がトラックでそのまま輸送されるようになり、消費者は季節を問わず多様な食材を安価に手に入れられるようになりました。これは、経済統合が市民の利便性を向上させた具体例の一つです。